

天体

- (001) 星座は全天に( )あり, 日本からは( )くらいを見ること  
とができる。
- (002) 最も明るい21個の恒星を( )等星とする。肉眼でやっと思える  
( )等星の( )倍の明るさ。
- (003) 表面温度が高い星は( )く見える。  
( )や( )など。
- (004) 表面温度が低い星は( )く見える。  
( )や( )など。
- (005) 春の1等星には, 次のものがある。  
…うしかい座の( ), おとめ座の( ),  
しし座の( )
- (006) 夏の1等星には, 次のものがある。  
…わし座の( ), こと座の( ),  
はくちょう座の( ), さそり座の( )
- (007) 冬の1等星には, 次のものがある。  
…おおいぬ座の( ), こいぬ座の( ),  
ぎょしゃ座の( ), ふたご座の( ),  
おうし座の( ),  
オリオン座の( )と( )。
- (008) 北の空の星は, 北極星を中心にして1時間に( )度ずつ,  
( )まわりにまわって見える。
- (009) 北極星の高さをはかると, その地点の( )がわかる。
- (010) ま東から出てま西にしずむ星は, ( )座の三つ星。
- (011) 太陽のように自分で光っている星を( )といい, そのまわりを回  
っているのが( ), そのまわりを回っているのが( )。
- (012) ( )は, 月と同じように満ち欠けをし, よい明星・明けの明星と  
よばれる。
- (013) 新月から次の新月までは( )日かかる。
- (014) 月の自転周期は( )日で, 公転周期は( )日。だか  
ら, ( )。
- (015) 上げんの月が南中するのは( )ごろ。
- (016) 三日月は, ( )ごろ, ( )の空に見える。
- (017) 日食は( )月のときにおこり, 太陽・( )の順。
- (018) 月食は( )月のときにおこり, 太陽・( )の順。
- (019) 緯度は, ( )面をもとにして南北方向にはかった角度。  
経度は, ( )の旧( )天文台をもとにした角  
度。同じ経度の地点を結んだ線が( )または( )。
- (020) 日本の時刻は, ( )県( )市を通る, 東経( )  
度が基準になっている。

( 2 の 2 )

□□□ (021) 右の図の、ア～エの方位を求めなさい。  
 …ア( ), イ( ), ウ( ), エ( )

□□□ (022) 右の図の太陽の動く方向は( )。

□□□ (023) 右の図の①～③のうち、春は( ),  
 夏は( ), 秋は( ), 冬は( )。

□□□ (024) 東京は、北緯( )度ぐらい、東経  
 ( )度ぐらい。南中時刻は、  
 ( )時( )分ぐらい。

□□□ (025) 東の地点に行くほど、南中( )  
 は( )くなる。

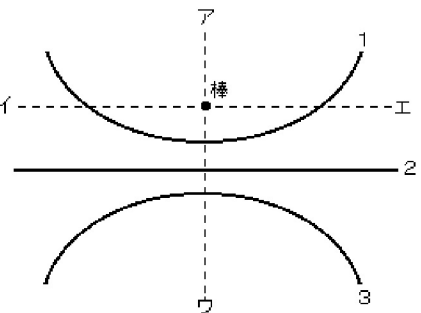
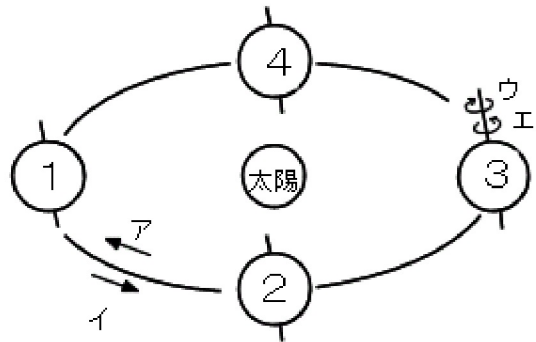
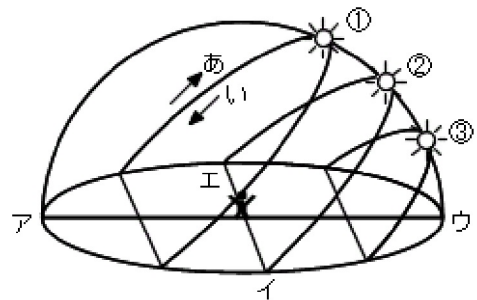
□□□ (026) 北の地点に行くほど、南中( )は( )くなる。

□□□ (027) 季節の変化があるのは、( )が地球の( )に対して、  
 ( )度かたむいているから。

□□□ (028) 右の図の地球の動きのうち、自転は  
 ( ), 公転は( )。1～4のうち、  
 春は( ), 夏は( ), 秋は( ),  
 冬は( )。

□□□ (029) 太陽の南中高度の式  
 春分…( )  
 夏至…( )  
 秋分…( )  
 冬至…( )

□□□ (030) 右の図の日影曲線のうち、春分・秋分は  
 ( ), 夏至は( ), 冬至は( )。  
 ア～エの方位のうち、東は( ), 西は( ),  
 南は( ), 北は( )。



□□□ (031) 地球の直径は約( )km で、月の約( )倍、太陽の約( )分の1。

□□□ (032) 自分で光っている星を( )星, そのまわりをまわっている星を( )星,  
 そのまわりをまわっている星を( )星という。

□□□ (033) 太陽のまわりをまわっている星は、太陽に近い方から( )・( )  
 ・( )・( )・( )・( )・( )・( )。

天体

- (001) 星座は全天に( 88 )あり, 日本からは( 50 )くらいを見ることが出来る。
- (002) 最も明るい21個の恒星を( 1 )等星とする。肉眼でやっと思える( 6 )等星の( 100 )倍の明るさ。
- (003) 表面温度が高い星は( 青白 )く見える。( スピカ )や( リゲル )など。
- (004) 表面温度が低い星は( 赤 )く見える。( アンタレス )や( ベテルギウス )など。
- (005) 春の1等星には, 次のものがある。  
…うしかい座の( アルクトゥルス ), おとめ座の( スピカ ), しし座の( レグルス )
- (006) 夏の1等星には, 次のものがある。  
…わし座の( アルタイル ), こと座の( ベガ ), はくちょう座の( デネブ ), さそり座の( アンタレス )
- (007) 冬の1等星には, 次のものがある。  
…おおいぬ座の( シリウス ), こいぬ座の( プロキオン ), ぎょしゃ座の( カペラ ), ふたご座の( ポルックス ), おうし座の( アルデバラン ), オリオン座の( ベテルギウス )と( リゲル )。
- (008) 北の空の星は, 北極星を中心にして1時間に( 15 )度ずつ, ( 反時計 )まわりにまわって見える。
- (009) 北極星の高さをはかると, その地点の( 緯度 )がわかる。
- (010) ま東から出てま西にしずむ星は, ( オリオン )座の三つ星。
- (011) 太陽のように自分で光っている星を( こう星 )といい, そのまわりを回っているのが( わく星 ), そのまわりを回っているのが( えい星 )。
- (012) ( 金星 )は, 月と同じように満ち欠けをし, よい明星・明けの明星とよばれる。
- (013) 新月から次の新月までは( 29.5 )日かかる。
- (014) 月の自転周期は( 27.3 )日で, 公転周期は( 27.3 )日。だから, ( 月の裏側が見えない )。
- (015) 上げんの月が南中するのは( 夕方 )ごろ。
- (016) 三日月は, ( 夕方 )ごろ, ( 西 )の空に見える。
- (017) 日食は( 新 )月のときにおこり, 太陽・( 月 ・ 地球 )の順。
- (018) 月食は( 満 )月のときにおこり, 太陽・( 地球 ・ 月 )の順。
- (019) 緯度は, ( 赤道 )面をもとにして南北方向にはかった角度。  
経度は, ( イギリス )の旧( グリニッジ )天文台をもとにした角度。同じ経度の地点を結んだ線が( 経線 )または( 子午線 )。
- (020) 日本の時刻は, ( 兵庫 )県( 明石 )市を通る, 東経( 135 )度が基準になっている。

( 2 の 2 )

□□□ (021) 右の図の、ア～エの方位を求めなさい。  
 …ア(北), イ(西), ウ(南), エ(東)

□□□ (022) 右の図の太陽の動く方向は( あ )。

□□□ (023) 右の図の①～③のうち、春は( ② ),  
 夏は( ① ), 秋は( ② ), 冬は( ③ )。

□□□ (024) 東京は、北緯( 36 )度ぐらい、東経  
 ( 140 )度ぐらい。南中時刻は、  
 ( 11 )時( 40 )分ぐらい。

□□□ (025) 東の地点に行くほど、南中( 時刻 )  
 は( 早 )くなる。

□□□ (026) 北の地点に行くほど、南中( 高度 )は( 低 )くなる。

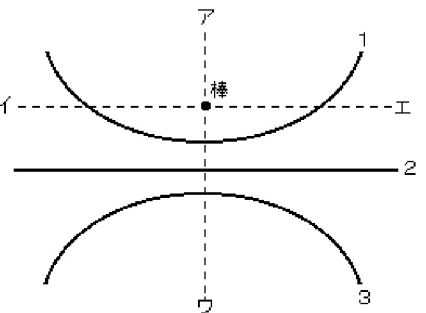
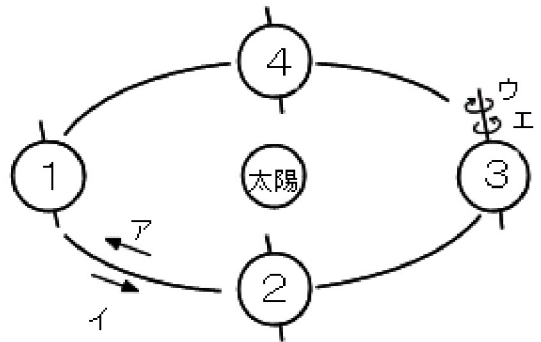
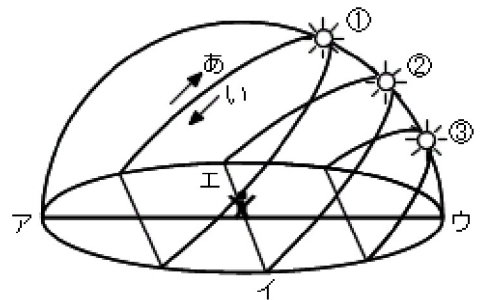
□□□ (027) 季節の変化があるのは、( 地軸 )が地球の( 公転面 )に対して、  
 ( 66.6 )度かたむいているから。

□□□ (028) 右の図の地球の動きのうち、自転は  
 ( エ ), 公転は( イ )。1～4のうち、  
 春は( 2 ), 夏は( 3 ), 秋は( 4 ),  
 冬は( 1 )。

□□□ (029) 太陽の南中高度の式  
 春分…(  $90 - \text{緯度}$  )  
 夏至…(  $90 - \text{緯度} + 23.4$  )  
 秋分…(  $90 - \text{緯度}$  )  
 冬至…(  $90 - \text{緯度} - 23.4$  )

□□□ (030) 右の図の日影曲線のうち、春分・秋分は  
 ( 2 ), 夏至は( 1 ), 冬至は( 3 )。

ア～エの方位のうち、東は( イ ), 西は( エ ),  
 南は( ア ), 北は( ウ )。



□□□ (031) 地球の直径は約( 13000 )kmで、月の約( 4 )倍、太陽の約( 109 )分の1。

□□□ (032) 自分で光っている星を( 恒 )星, そのまわりをまわっている星を( 惑 )星,  
 そのまわりをまわっている星を( 衛 )星という。

□□□ (033) 太陽のまわりをまわっている星は、太陽に近い方から( 水星 )・( 金星 )  
 ・( 地球 )・( 火星 )・( 木星 )・( 土星 )・( 天王星 )・( 海王星 )。